後援会会報

東洋高等学校
後援会
千代田区神田三崎町1-4-16
TEL 3291-3824

後援会会長挨拶

後援会会長　大島　昭

寒い中にも春の訪れが聞こえてくるような今日この頃でございますが、後援会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。去る六月十七日には皆様のご協力により平成二十九年度総会も無事終了しましたこと、厚く御礼申し上げます。また、昨年は秋篠宮眞子様と小室圭さんのご婚約発表があり、お互いの感じを太陽や月に例えて話され、微笑ましく感じました。私たちも空を見上げると月や太陽や星を見ることができます。月のように丸い心で、太陽のように温かみのある優しい思いやりの心で、そして星のように人の心に輝きを見ることができたら、素晴らしい世の中になると思います。

また、食物や、草、木を育てるには、太陽や雨、風が必要なように、学校においても、この要素が必要です。木に例えるならば、生徒の「やる気（やる木）という木を育て、そして頑張って立派という葉を繁らせ、卒業の時には、成果という実ができることを願います。」

そのためには、生徒一人一人が充実した教育環境の中で、有意義な学校生活が送れることが大切だと思いますし、一生のうちで最も多感な高校時代を過ごす生徒を慈しみ、育み、成長の手助けをしてくださる人生の先輩としての先生方の役割も非常に大切だと痛感します。東洋高校の先生方は皆さん誰よりもそれぞれのお立場で生徒のために必要なことを、日夜真剣に考えて、実行してくださっております。東洋高校で学ぶ生徒の皆さんや先生方の応援団としてこの後援会は存在しています。今後もますます皆様方のご協力を賜りながら活動を活発にしてまいりたいと思います。

最後になりますが、会員の皆様方のますますのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、後援会へのさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

教育の不易流行

校長　石井　和彦

皆様、こんにちは。「還暦」という言葉を知識だけではなく実感をもって読めるようになってきた校長の石井和彦です。

この原稿を書いている現在、師走に入り、推薦入試等で首都大学東京や電気通信大学、慶応義塾大学などの合格通知が届いていますが、大半の三年生にとってはこれからが正念場、という季節を迎えています。昨今は、高大接続改革の掛け声のもと、主体的・協同的な学習だのＩＣＴ教育だの英語四技能だの、果てはルーブリック評価だのポートフォリオだの耳慣れない言葉が目につき耳に入ってきます。それぞれの意味や由来を調べてみると、至極もっともなことではあり、生徒の資質や能力、志向を多面的に評価し、社会に結びつけようという大まかな方向性については賛同できるものの、なにか大切なものが抜け落ちている気がしてなりません。教育に関するニュースや雑誌記事をみると、グローバル人材の育成、とか、リーダーを育てる、といったフレーズがやたらに目立ちます。一方で、大きな鉄鋼屋さん自動車屋さんのニュースも目につくようになりました。仕事をはじめとする自分の生き方に誇りと責任をもつこと、とまるで小学生の道徳教科書のようですが、そのレベルの教育が求められているように強く感じられます。目の前に落ちているゴミを拾う心遣い、あるいはよく言われることですが、人の痛みがわかるような感受性・想像力を身につけることが必要だと思います。

また、さまざまな統計を見ると、若者の自己肯定感や意欲の低さ、将来に亘る希望がないなどの結果を目にしますが（内閣府「こども・若者白書」など）、こうした傾向の原因には、学校を含めた大人の生きる姿勢が多分に反映されているような気がしてなりません。大人も辛いけれどがんばっているんだなあ、とか、憧れの大人といった若者に希望や勇気を与えられる大人の姿が少なくなっているのではないでしょうか。学校という枠にとらわれず、広い意味で、こうしたことも教育の根本だと強く思うのです。

平成二十九年度 総会開催

平成二十九年六月十七日（土）本校オリエントホールにおいて、平成二十九年度総会が開催されました。出席四十四名、委任状一〇三六通で、平成二十八年度事業報告及び決算、平成二十九年度事業計画及び予算の審議が行われ、全会一致で可決されました。

平成二十九年度事業計画

一、学校設備（ＩＣＴ機器等）の設備援助
二、教育振興のための生徒活動の援助
三、教職員の資質向上のための研修等への援助
四、その他本会の目的達成に役立つ事業

平成二十九年度後援会活動報告

五月二十六日　平成二十九年度第一回役員会
六月十七日　総会
七月九日　第二回役員会
十月二十二日　東洋祭参加（三燦会バザーに協賛）
十二月二日　手作り講習会（ブローチ）
一月四・五日　春の高校バレー応援（東京体育館）
一月七日　新春歌舞伎鑑賞会（国立劇場）

東洋祭バザーに参加

十月二十二日（日）東洋高校学園祭である東洋祭の二日目、今年も三燦会のバザーに協賛して参加しました。当日は二階会議室で、スイートポテト、赤飯、おにぎり、レトルトカレー、焼き海苔、お茶等を販売。現役の保護者の方々とも親睦を深めながら楽しい時間を過ごすことができました。

手作り講習会開催

十二月二日（土）二階会議室で後援会主催による「きらきらビーズの簡単ブローチ」講習会を開催。当日は昨年に続いて女性の先生、現役の保護者の皆様、ＯＢ会員、十九名の参加がありました。多種多様なビーズを選ぶことから始め、思い思いのブローチを楽しく作りました。予想以上の出来栄えに満足した皆様の様子に主催者側も嬉しく思いました。

新春歌舞伎鑑賞会

年が明けて平成三十年一月七日（日）、国立劇場にて新春歌舞伎鑑賞会を催しました。尾上菊五郎等による通し狂言「世界花小栗判官」を鑑賞。芝居の中には昨年話題になった出来事や流行語も登場し、楽しいひと時を過ごし、初春の気分を満喫することができました。一般会員の皆様にも久しぶりに参加していただきましたが、来年は更に多くの方々のご参加をいただければと思います。

三燦会発足にあたって

三燦会初代会長　東山　正人

会員の皆様には、日頃から三燦会活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。また、後援会役員の皆様には、日頃より様々な連携・ご指導を賜り感謝申し上げます。

学校と家庭との連絡を密にし、保護者と教職員との協力により建学の理想達成に貢献し、教育に対する理解を深め、併せて保護者相互の親睦を図ることを目的に、二〇一七年二月に発足致しました。「三」＝三者（父母・教員・生徒）＆千代田区三崎町、「燦」＝きらめく（校歌の歌詞にも含まれている）の二文字を用いて、三崎町（東洋高等学校）で三者がかがやくという願いを込めて名付けられました。

発足の約一年前より準備委員会として現三年生の三十名程の父母の皆様が集まり、石井校長先生、市川教頭先生他教職員の先生方と共に、様々な知恵を出し合い常に楽しい雰囲気の中、なんとか始動することができました。初代会長として素晴らしい仲間と共に準備から参加させて頂いた事を、大変誇りに感じると同時に、発足に携わって頂いたすべての皆様に、深く感謝しております。

三燦会は、現在二年目を迎えております。深川会長を中心に、三燦会のネーミングのように三崎町という地でかがやける立派な会になるであろうと確信しています。

末筆ながら、東洋高等学校に携わる皆々様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

※写真は、体育際での初の三燦会競技「スプーンリレー」を終えた三燦会活動メンバーの皆様です！

春の高校バレー応援

新春一月四日（木）から五日（金）にかけて東洋高校男子バレーボール部が春の高校バレーに出場。熱戦を繰り広げました。結果は一回戦は高松工芸（香川県代表）と対戦し、2―0でストレート勝ち。二回戦は近江高校（滋賀県代表）と対戦し、よく粘りましたが残念ながらストレートで破れ、ベスト32という結果に終わりました。後援会役員も会場である東京体育館に応援に駆けつけ熱戦を見守りました。選手の素晴らしいプレーと一致団結した応援に感動を新たにしました。

東洋高等学校後援会 会計報告

東洋高等学校　後援会平成29年度収支予算書

平成29年４月１日～平成30年度３月31日

収入の部　単位:円

項　目	当年度予算額	前年度予算額	増　減　額	参考事項
会費収入				
会　費	1,115,000	0	1,115,000	生徒数1115名@1000
入会金	662,000	253,600	408,400	新入生331名@2000
B会員会費	30,000	0	30,000	
その他収入			0	
寄付金収入	20,000	0	20,000	
預金利息	1,000	5,000	△4,000	預金利息
前年度繰越金	4,327,566	5,926,169	△1,598,603	
合　計	6,155,566	6,184,769		

支出の部

項　目	当年度予算額	前年度予算額	増　減　額	参考事項
(校費補助)				
生徒活動補助費	500,000	500,000	0	
設備資金補助費	100,000	500,000	△400,000	
全国大会補助費	300,000	300,000	0	
教員研修補助費	100,000	200,000	△100,000	
			0	
(後援会経費)			0	
事業活動費	500,000	500,000	0	会報・講習会他
総会費	20,000	20,000	0	会場費・お茶
会議費	60,000	90,000	△30,000	総会・納会
通信費	100,000	100,000	0	各種案内状送付
消耗品費	10,000	10,000	0	文具
慶弔費	30,000	50,000	△20,000	
交通費	50,000	50,000	0	役員会他
雑費	10,000	10,000	0	
予備費	100,000	100,000	0	
次年度繰越金	4,275,566	3,704,769	570,797	
合　計	6,155,566	6,134,769		

東洋高等学校後援会平成28年度収支決算書

平成28年４月１日～平成29年度３月31日

収入の部	金　額	支出の部	金　額
1. 28年度会費収入		生徒活動補助費	500,000
入会金	254,400	設備資金補助費	500,000
		全国大会特別補助費	350,000
2. 預金利息収入	355	教職員研修補助費	43,000
		後援会経費	
		事業活動費	143,178
		総会費	3,066
		印刷費	198,828
		会議費	57,000
		消耗品費	1,080
		慶弔費	16,200
		交通費	41,000
		雑費	540
収入合計	254,755	支出合計	1,853,892
前年度繰越金	3,417,858	次年度繰越金	1,818,721
合　計	3,672,613	合　計	3,672,613

※その他預金　郵便局定期預金(周年行事積立金)　2,508,845円

江戸歴史探訪①「江戸城史跡散歩」

松竹梅里

東洋高校の北側、さいかち坂とJR中央線は江戸の守りで天然の要害を利用して築かれた江戸城外堀、神田川の河岸を沿う形で走っています。

江戸城は、一五九〇年に徳川家康が入府し、新たに巨大な居城として完成させました。現在では天皇の住まいや宮内庁の建物がある皇居や、松林の皇居外苑、江戸城の遺構を残す皇居東御苑、そして武道館のある北の丸公園など、四季折々の草花や、樹木が茂る日本有数の公園として親しまれています。

今回はその中でも江戸城の巨大な遺構を残す皇居東御苑を探訪します。東御苑は、東洋高校手前の白山通りが突き当たる平川門、科学技術館前の北桔橋門、大手町駅から五分ほどで駅名由来の江戸城正門の大手門から自由に入ることができます。受付で番号札を受け取ります。入園は無料ですが、札は退園時に返却するので無くさないようにしてください。さて、中に入ると百人番所や同心番所、大番所の建物が江戸時代にタイムスリップさせてくれます。中ノ門跡の巨大な石垣は寸分の隙間もなく積まれていて、当時の土木技術の高さを偲ばせてくれます。中ノ門の手前を右手に往けば全国都道府県の木の生い茂る二の丸庭園が広がり、門を潜って坂を登ると中雀門跡を経て広大な本丸大芝生が現れ、それを囲むように豊かな自然の森が生い茂る本丸跡に到着します。前方には幻の江戸城天守台が巨大な遺構を現し、手前には富士見櫓や松の廊下跡、大奥跡など往時の権力者が権勢を謳歌した時代模様を彷彿とさせてくれます。またこの広大な庭園には、桜やバラ、紫陽花など四季折々の草花が艶やかに饗宴し、何時訪れても楽しめる公園となっています。

この東御苑には、もう一つ大きな見所があります。それは大手門を入るとすぐの場所にある三の丸尚蔵館です。ここには皇室から国に寄贈された国宝級の宝物が季節に応じて展示されており、絵画では狩野永徳、俵屋宗達はじめ丸山応挙、伊藤若冲など、また書でも王義之や空海の真筆など、様々な名立たる美術工芸品が所蔵されており、四季折々の風情に合った展示を無料で鑑賞できる超穴場の美術館です。

皆さんも、小春日和の晴れ間に広大な庭園で春の草花を愛で、三の丸尚蔵館で宝物を鑑賞してはいかがでしょうか。